

BRANZ文京白山

Branz Bunkyo Hakusan

No. 06-012-2013作成

新築
集合住宅

発注者	東急不動産株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社熊谷組一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社熊谷組 首都圏支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

由緒ある場所に相応しい、ここにしかない邸宅



道路側立面



アプローチタ景



エントランスホール内観

まちなみに配慮したデザイン計画

本計画地は、都営三田線白山駅から徒歩2分ながら閑静な住宅街に位置し、神社・寺院が隣接する落ち着いた環境となっています。「良好な周辺環境をどう保全し、更新していくか」を設計の大きなテーマとしました。

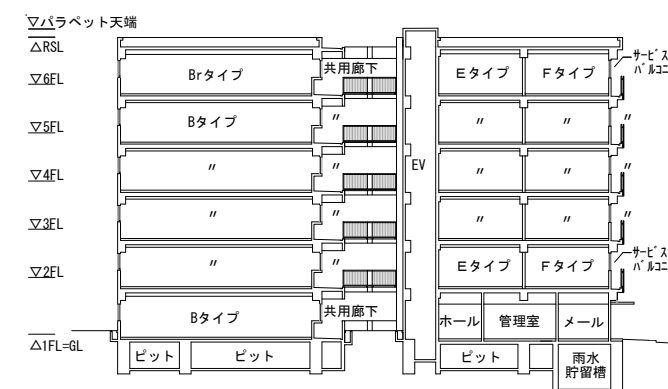
建物の配棟構成は周辺に与える圧迫感・日影を考慮し、隣地に最も近接している北東側部分を4階建とし、ヴォリューム感を抑えています。外装材には落ち着いた和テイストの配色の質感ある材料を選定し、シンプルでありながらも周辺の寺社仏閣がもつ厳かな雰囲気にとけ込むデザインとしています。

建物の外周部分は可能な限り緑化に努め、緑豊かな環境形成に寄与すると共に、緩やかに蛇行する参道のようなアプローチ部分は、両側を濃密に植栽することで邸宅としての凛とした存在感を創出しています。

歴史ある街並みにひとつの新しい「顔」が生まれることを期待しています。



敷地配置図



断面図

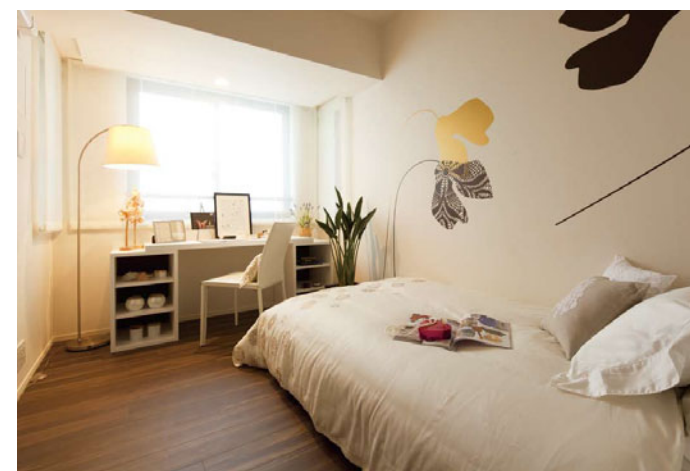
緑豊かな植栽計画

周辺の緑との一体感を意識して、約20種類の高木と中木からなる植栽計画を実践しています。入り口にはシンボルツリーとして高さ8mのケヤキを植樹し、そこから続くアプローチで奥行き感を演出しています。一年を通して訪れる方々に四季の移り変わりが感じられる計画を目指しました。

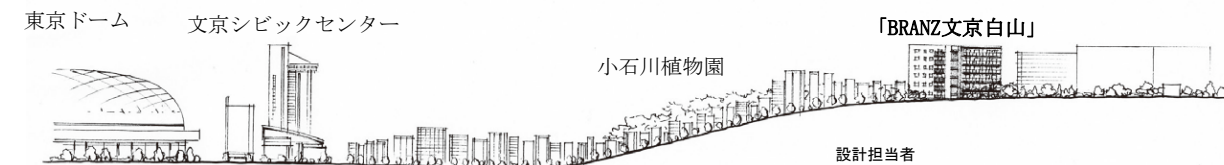
環境負荷低減を重視した専有部計画

建物本体の高耐久性能を維持すべく、住宅性能評価劣化等級3、維持管理対策等級（専用配管）3とし、建物の長寿命化・維持管理への配慮を図り、住宅性能基準の省エネルギー対策等級4を取得しています。

各住戸には2枚のガラス間に空気層を設けた「複層ガラス」を採用し、冷暖房効率の向上・ガラス面結露の抑制を図ると同時に、潜熱回収型ガス給湯器（エコジョーズ）を採用し、建物の環境負荷低減に大きく寄与しています。住戸内の一部照明器具には、一般的な電灯に比べ長寿命であるLED照明を用いています。



専有部内観

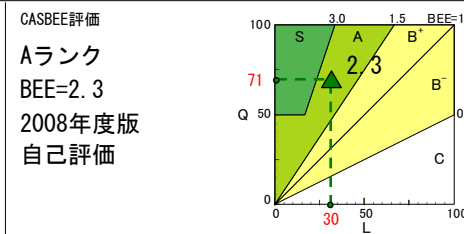


断面イメージ

設計担当者
統括：坂本博登/建築：小川高行、鈴木大/構造：北山裕人
設備：藤井幸子/電気：端山智之

建物データ

所在地	東京都文京区
竣工年	2013年
敷地面積	1,386㎡
延床面積	2,989㎡
構造	RC造
階数	地上6階



- 主要な採用技術（CASBEE準拠）
- Q2. 2. 耐用性・信頼性（劣化対策等級3）
 - Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（豊かな植栽計画、一部に屋上緑化を採用）
 - LR1. 1. 建物の熱負荷抑制（複層ガラスの採用、省エネ等級4）
 - LR2. 1. 水資源保護（節水型機器の採用）
 - LR3. 2. 地域環境への配慮（街並みに配慮したデザイン）